

金融市場NOW

米国製造業景況感に底打ち感

中国は新型肺炎の感染拡大が懸念されるも、米国との合意内容を履行姿勢

- 1月の米国製造業景況感指数は前月から拡大。米中貿易協議の進展が背景か。
- 『生産』および『新規受注』の上昇が景況感の改善に大きく貢献。
- 中国は新型肺炎の感染拡大による影響が懸念されるも、第1段階合意の内容を着実に履行する姿勢。

米国の製造業に回復の兆しがみられています。

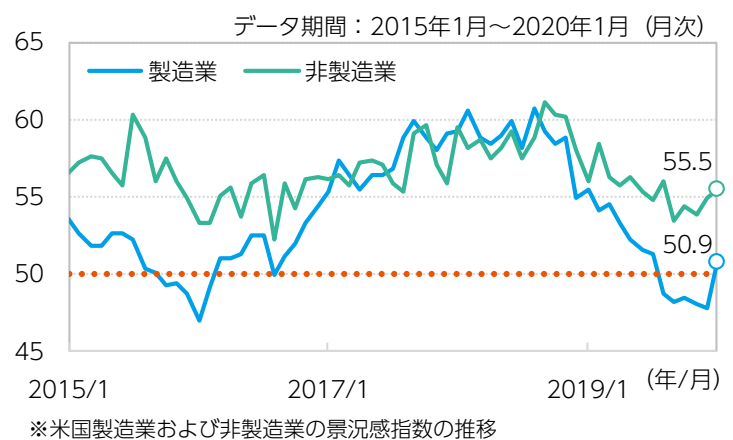
米国ISM（供給管理協会）が2月3日に公表した2020年1月の米国製造業景況感指数は、前月の47.8から3.1ポイント上昇し、50.9となりました（図表1）。製造活動の拡大・縮小の分かれ目となる50を上回るのは2019年7月以来、6ヵ月ぶりとなります。米中貿易摩擦の影響により、2019年8月以降低迷が続いていましたが、米中貿易協議が無事に第1段階合意に至ったことなどで、景況感の改善につながったものと考えられます。なお、これまでも比較的堅調に推移してきた非製造業（サービス業）の1月の景況感指数が5日に公表され、前月に引き続き底堅い結果となりました。

1月の製造業景況感指数の改善には、指数を構成する5つの指数のうち、『生産』および『新規受注』の上昇が大きく貢献しました（図表2）。

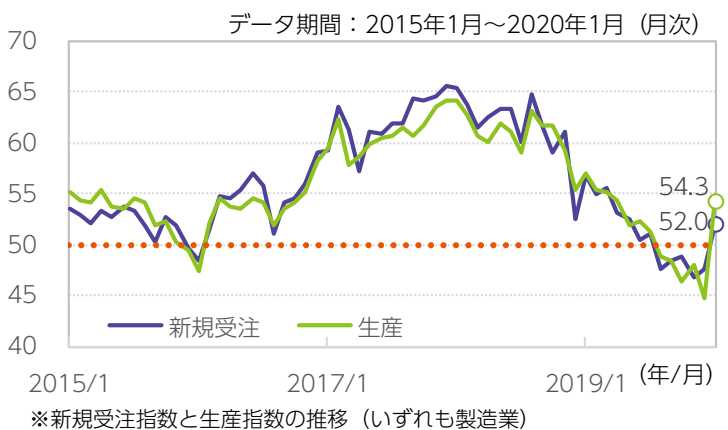
『生産』は54.3となり、前月から9.5ポイント大幅上昇し、半年ぶりに50を回復しました。1月15日の米中貿易協議の第1段階合意において、中国が対米輸入額を大幅に増やすことを公約したことから（図表3）、先行き不透明感が後退し、同指数の上昇を後押ししたものとみられます。

足元の新型肺炎の感染拡大により中国の景気減速が懸念されるなかでも、中国は米国との第1段階合意の内容を着実に履行する姿勢を見せています。公約された輸入物品には工業製品（製造業）やサービス（非製造業）が含まれることから、米製造業および非製造業の活動拡大が期待できそうです。

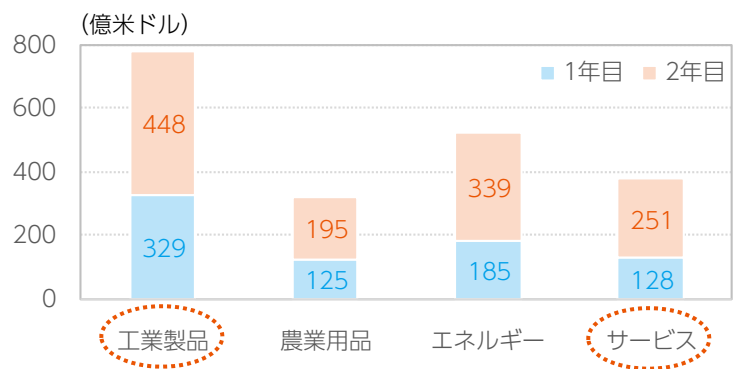
図表1：製造業の景況感に底打ち感



図表2：生産と新規受注の増加が貢献



図表3：中国は米国からの輸入額を増やすことを公約



出所) 図表1、2はブルームバーグ、図表3は米国通商代表部（USTR）のデータをもとにニッセイアセットマネジメントが作成

【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

<設定・運用>



ニッセイアセットマネジメント株式会社

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者

関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

ニッセイアセットマネジメント株式会社

コールセンター 0120-762-506（受付時間：営業日の午前9時～午後5時）

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>